

## インドネシア共和国政府・政府関係機関向けに住宅金融に関する研修を行いました

住宅金融支援機構（以下、機構）は、10月23日（月）から10月26日（木）に、インドネシア共和国の公共事業・住宅省（PUPR）※<sup>1</sup>、財務省、第二次抵当公社（SMF）※<sup>2</sup>及び公共住宅貯蓄管理庁（BP Tapera）※<sup>3</sup>の職員向けに住宅金融に関する研修を実施しました。

研修では、インドネシアで事業を行う日本企業へのファイナンス、日本における住宅ローンのオリジネーション・プロセス、アジアにおけるサステナブル・ファイナンスの動向等について情報提供及び意見交換を行ったほか、住宅関連の工場を視察しました。

また、本邦企業とのワークショップを開催し、研修参加者からインドネシアの住宅政策等に関する情報提供を行い、ワークショップに参加した日本企業と意見交換を行いました。

なお、本研修は、国土交通省住宅局の住宅建築技術国際展開支援事業（補助事業）として実施したものです。

※1 Kementerian Pekerjaan Umum dan Perumahan Rakyat

※2 PT Sarana Multigriya Finansial (Persero)

※3 Badan Pengelola Tabungan Perumahan Rakyat

